

# 総合戦略事業評価シート

## 委員評価

平成31年度分

担当課

農林水産課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 地場産業の推進による地域のブランド化と雇用の増進
具体的施策	地場産業の育成支援
事業名	No.111 新規農業者への支援及び環境整備
事業概要	新規就農者の増加を図り、今後の地域農業の担い手育成のため、支援体制を充実します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項	新規就農者数						
		KPI	令和2年度までに延べ21人 ※「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」で毎年3名の確保を目標としている						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度
		数値	3	5	5	5	5	5	
		達成率		23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	
		備考	延べ人数5人（31年度0人）						
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度
		数値							
		達成率							
		備考							
平成31年度	評価（C） ↓ 改善（A） ↓ 委員意見	【平成31年度評価】							
		担当課評価	県東隅農業事務所、JAいすみ、市農業委員会等と情報の共有を図るなど連携し、就農にあたっての農地取得に係る現地案内や相談会を行うなど推進に努めたが、新規就農者の確保には至らなかったことから、D評価とする。						
		D							
		【令和2年度における取組み】							
		改善（A）	農業委員会と連携した就農相談体制のほか、各種就農フェアや千葉県主催の就農関連イベントへの参加呼びかけを継続して実施するなど、若者農家と行政・農業委員との交流を通して新規に若者が就農しやすい環境づくりや、支援等を行っていく。 定住促進施策との連携や農業委員会と協調して、農地取得がしやすくなるよう規制の緩和を検討するほか、農業経営の安定化や近代化を支援し、ほ場整備事業を推進するなど農業経営基盤の確立を行うことなどにより担い手育成を図る。						
		【評価等に対する意見】							
		委員評価							
		D	担当課の評価のとおりとし、新規就農者が確保できなかった要因の分析を行うとともに、令和2年度以降も新規就農者確保に向けた改善を図り、事業を継続されたい。						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分

担当課

農林水産課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 地場産業の推進による地域のブランド化と雇用の増進
具体的施策	地場産業の育成支援
事業名	No.112 新規漁業者への支援及び環境整備
事業概要	漁業の担い手である新規漁業者を確保・育成するため支援体制を充実します。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	新規漁業者数						
		KPI	令和2年度までに延べ14人						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度
		数値	2	4	5	7	9	12	
		達成率		28.6%	35.7%	50.0%	64.3%	85.7%	
		備考	延べ人数12人 (31年度3人)						
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度
		数値							
		達成率							
平成31年度	評価 (C)	【平成31年度評価】							
		担当課 評価 B	(一社)全国漁業就業者確保育成センターが主催する「漁業就業支援フェア」等へ、県、市、漁協及び漁業者自らの参加により、新規就業者の確保に努めた。結果、新勝浦市漁協において3名の新規就業者の確保に繋がり、新規就業者を対象に短期研修や受け入れた漁業者に対して支援事業を実施し、新規就業者の定着に努めていることから、B評価とする。						
	改善 (A)	【令和2年度における取組み】							
			関係機関と連携し、今後も、新規就業者の確保、育成に努め、また、「漁業就業支援フェア」等のイベントに参加し、市・県外の人材にも着目し、幅広く新規就業者の確保に取り組む考えである。						
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員 評価 B	担当課の評価のとおりとし、新規漁業者と高齢漁業者(1人乗り)の組合せなど漁業者育成と継承に対する取組を検討するとともに、令和2年度以降も改善を図り、継続して実施されたい。						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分	担当課	企画課
---------	-----	-----

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 地場産業の推進による地域のブランド化と雇用の増進
具体的施策	地場産業の育成支援
事業名	No.113 地(知)の拠点大学による地方創生の推進
事業概要	千葉大学及び文部科学省が展開する「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の実施協働機関として連携し、地場産業等育成に努めます。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
平成31年度	評価 (C)	【平成31年度評価】							
		担当課 評価 B	<p>本事業は、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」と連携し、地方創生関係事業の推進を図ることを目的としている。</p> <p>COC+は、人口減少・若年層流出の課題を解決するため、県内の自治体、大学、企業等が協働して、若者が地域に定着するための教育プログラムの開発と魅力ある職づくりの開拓を進めるものであり、前年度、COC+構成大学の千葉工業大学と連携して実施した「星空教室」を継続実施し、事業の定着を図ることを成果指標として設定した。</p> <p>本年度は、興津小学校での開催が決定し、同校の児童を対象とした「星空教室」を令和元年8月10日に千葉工業大学主催(教育委員会協力)で実施(児童20名、保護者14名)したところである。</p> <p>以上から、本事業の評価をBとする。</p>						
	改善 (A)	【令和2年度における取組み】	<p>千葉大学及び文部科学省が展開する「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」は、平成31年度で完了となった。</p> <p>今後は必要に応じて、COC+の構成団体(関係大学等)と地方創生に資する課題解決に向けた連携の可能性を検討する。</p>						
		【評価等に対する意見】							
	委員意見	委員 評価 B	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分

担当課

農林水産課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 地場産業の推進による地域のブランド化と雇用の増進
具体的施策	地場産業の推進による地域のブランド化
事業名	No.121 農林水産物の高付加価値化とブランド化
事業概要	農林水産業者に対し、高所得化経営の推進するための研修を行います。 首都圏まで75キロという地の利を活かした他の地域との差別化を図りながら、遊休農地を活用した農産物の開発、マグロ・キンメダイなどの水産物のブランド化を推進し、販路の拡大に努めます。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 新規就農者数								
		KPI 令和2年度までに延べ21人								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	3	5	5	5	5	5		延べ人数5人 (31年度0人)
		達成率		23.8%	23.8%	23.8%	23.8%	23.8%		
		目標事項 新規漁業者数								
		KPI 令和2年度までに延べ14人								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	2	4	5	7	9	12		延べ人数12人 (31年度3人)
		達成率		28.6%	35.7%	50.0%	64.3%	85.7%		
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
平成31年度	評価（C）	【平成31年度評価】								
		担当課 評価	【農林】勝浦産米を含めた「いすみ米」のブランド化を図るとともに、施設によるスプレーストック等花きの栽培やキウイフルーツの産地化、ほ場整備実施予定地区に県農業事務所等とタマネギ、スナップエンドウ等転作作物（野菜）の作付けを可能とするなど、新たな取組を実施した。							
		B	【水産】一般消費者向けにカツオまつりの開催、また、バイヤー等、プロ向けイベントとして、築地場外における「マカジキ」のPRイベントを開催した。これらのイベントを通じて、勝浦水産物の付加価値化や新たなPR水産物の開拓を図り、更なる消費拡大に繋げた。  以上により、農林水産物の高付加価値化とブランド化に一定の成果があったことからB評価とする。							
	改善（A）	【令和2年度における取組み】								
		【農林】引き続き、農業事務所やJA等関係機関と連携を図り、栽培技術講習会や先進地視察を行い、所得向上に資する技術の確立に取り組むとともに、ほ場整備事業を契機に地域における担い手の確保するため集落での営農組織の育成により農産物の付加価値化に取り組む。 【水産】イベント等において勝浦水産物のPRを継続し、更にバイヤー等の流通関係者及び異業種との連携に視野を置き、また、付加価値向上のための地理的表示保護制度登録の検討を踏まえ、新たな勝浦ブランド水産物への取り組みを展開する。								
		【評価等に対する意見】								
	委員意見	委員 評価	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、地元農水産物の今後の販路の確保など高所得化に向けて事業を継続されたい。							
		B	また、コロナ禍の社会情勢でもキンメダイの市場価値は1～2割程度の上落で落ち着いており、更なるブランド化を進めるためにも、この要因を検証することが必要である。							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	観光商工課
基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保		
基本方向	次世代産業の育成支援による地域経済の発展		
	企業誘致の強化・起業支援の強化		
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化		
事業名	No.131 企業立地の促進		
事業概要	行川アイランド跡地や学校跡地等を活用した事業所の新設等を行う企業に対し相談体制の充実を図り、奨励措置・融資等の企業支援を講じます。		

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 企業誘致件数								
		KPI 令和2年度までに延べ5件								
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
			3	0	1	3	5	6		延べ件数6件
		達成率		0.0%	20.0%	60.0%	100.0%	120.0%		
		目標事項								
		KPI								
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		達成率								
平成31年度	評価（C）	【平成31年度評価】								
		担当課評価	企業進出のきっかけづくりとして本市との関係地づくりを目的に、インターネット環境さえあれば一定の仕事が可能で、地域課題に関心のある都市部の方を対象に、市内のツアー（2回で33名参加）を開催した。また、企業立地に関する相談に対し適切な対応に努めることができたことから、B評価とする。							
	B									
	改善（A）	【令和2年度における取組み】								
		引き続き、千葉県との積極的な連携により、本市への新規企業進出に向けた立地ニーズの把握や企業訪問などの取組を推進する。また、金融機関とも情報交換を進め、本市の地域資源を活用した企業誘致や、市内企業の事業拡張や先端設備導入等への支援を行う。								
	委員意見	【評価等に対する意見】								
委員評価		担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。								
B										

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



平成31年度分		担当課	観光商工課						
基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保								
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化								
	次世代産業の育成支援による地域経済の発展								
	企業誘致の強化・起業支援の強化								
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化								
事業名	No.132 中小企業の振興								
事業概要	経営の合理化や設備の近代化などに必要な融資を行い、併せて利子補給を実施することにより、市内中小企業の振興を図ります。								

  

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
	数値										
	達成率										
	平成31年度	評価 (C)	【平成31年度評価】								
			担当課 評価	本市制度融資については、新規に1件の融資決定があった。また、当該制度を利用している事業者に対し、計10件の利子補給を実施した。 別途、小規模事業者融資資金利子補給として、日本政策金融公庫が実効する融資に対し、21件の利子補給を実施した。 以上により、市内中小企業の振興に一定の効果があったことから、B評価とする。							
		改善 (A)	【令和2年度における取組み】								
制度融資及び利子補給を継続し、中小企業者の支援に努めるとともに、小規模事業者融資資金利子補給については、運転資金を利子補給対象に追加することにより、支援メニューを増やす。											
【評価等に対する意見】											
委員意見	委員 評価	小規模事業者融資資金利子補給は多くの事業所に利用されており、同施策に対しての評価はとも良い状況にある。 担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。									
	A										

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	観光商工課
基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保		
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化		
	次世代産業の育成支援による地域経済の発展		
	企業誘致の強化・起業支援の強化		
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化		
事業名	No.133 商店街の活性化		
事業概要	商工会に対し、商店街活性化のための支援を実施し、各商店街の活性化を図ります。		

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
平成31年度	評価（C）	【平成31年度評価】								
		担当課評価	勝浦中央商店会、興津商店会が主催する事業に対し補助金を交付し、新たなお客の来訪きっかけ創出につなげ、商店街活性化を促進した。各商店会が実施した具体的な事業としては、加盟店三角くじ・eスポーツ大会・飲食物販チラシの新聞折込・ハロウィンイベント・スタンプラリー等を実施した。 以上から、各商店街の活性化に一定の効果があったことから、B評価とする。							
		B	※各商店会が実施した事業実績の一例 ●三角くじ…8/1～9/23、11/21～12/15の2回実施 勝浦中央商店会ほぼ全店の約50店舗が参加 ●eスポーツ大会…6/16、10/20 2回実施（当初4回予定がコロナの影響等により2回中止） ●飲食物販チラシ…7/22～7/31 サービス券付のチラシを作成し、飲食店で食事した人に各店舗がサービスをするグルメイベント。勝浦中央商店会加盟飲食店21店舗が参加 ●ハロウィンイベント…11/2（土）11時～13時 勝浦中央商店会約30店舗（飲食店以外ほぼ全店）							
	改善（A）	【令和2年度における取組み】 勝浦市商工会を通じ各商店会が独自に行う事業に対し補助金を交付し、活性化を図る。特に、他団体との連携を促進し、相互協力関係を深める。								
		委員意見	【評価等に対する意見】							
	委員評価		担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。 なお、持続可能な商店街づくりのためには、お客が入店しやすい外観・雰囲気づくりのほか、商店街の魅力・強みを発信するなど商店街の活性化につながる新たな取組が必要である。							
	B									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



平成31年度分

担当課

観光商工課

基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化 次世代産業の育成支援による地域経済の発展 企業誘致の強化・起業支援の強化
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化
事業名	No.134 起業支援
事業概要	商工会と連携して空き店舗調査等を行い、起業者に対し相談や資金面での支援体制の充実を図り、開業率の上昇を促進するように努めます。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	就業相談件数						
		KPI	令和2年度までに年間40件						
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	20	20	24	36	36	41	
		達成率		50.0%	60.0%	90.0%	90.0%	102.5%	
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
平成31年度	評価 (C)	【平成31年度評価】							
		担当課評価	創業支援等事業計画に基づき、勝浦市商工会を中心に創業に関する相談や創業資金融資の円滑化に努めた。また、平成30年度に制度を開始した創業資金に関する融資について、新規3件の利子補給を実施し、創業支援に努めたことから、B評価とする。						
	改善 (A)	B							
	委員意見	【評価等に対する意見】							
	委員評価	B	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	観光商工課							
基本目標	1 産業振興・企業誘致・就業支援による働く場の確保									
基本方向	基幹産業強化による地域経済の活性化									
	次世代産業の育成支援による地域経済の発展									
	企業誘致の強化・起業支援の強化									
具体的施策	企業誘致の強化・起業支援の強化									
事業名	No.135 就労支援									
事業概要	就労を希望する者の、職業相談支援を行い、雇用の創出を図ります。									
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項 就業相談件数								
		KPI 令和2年度までに年間40件								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	20	20	24	36	36	41		
		達成率		50.0%	60.0%	90.0%	90.0%	102.5%		
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
	数値									
	達成率									
	平成31年度	評価 (C)	【平成31年度評価】							
			担当課 評価	ハローワークから提供される求人情報の掲出・提供を行うとともに、市内企業を20社訪問し、情報交換及び雇用状況のヒアリングを実施した。必要に応じて、移住相談会イベントへ情報を持参し、市内の雇用状況を紹介した。また、千葉県の事業であるUIJターン移住支援金対象求人情報の発掘及び専用サイトへの掲載を促進した。以上から、雇用の創出につながるよう職業相談支援を行うことができたことから、B評価とする。						
		改善 (A)	【令和2年度における取組み】							
			ハローワークとの連携を密にするとともに、市独自に求人情報の紹介方法を検討する。また、就職氷河期世代及び若者の就労支援について、千葉県及び千葉南東部地域サポートステーションと協力する。							
	委員意見	【評価等に対する意見】								
委員 評価		担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、アルバイト情報などの就労情報を国際武道大学生に提供するなど、若い労働力の積極的な活用促進を検討して事業を継続されたい。								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	観光商工課							
基本目標		2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進								
基本方向		魅力的な観光地の基盤づくりの強化								
		イベント活動の充実と魅力の向上								
具体的施策		観光産業の育成・支援								
事業名		No.211 観光案内の環境整備								
事業概要		観光の基盤づくりとして観光拠点を強化し、観光客への情報発信体制を充実します。								

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項 交流人口(観光入込客数)								
		KPI 令和2年度までに年間1,405千人								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	1,126	1,120	1,083	991	1,095	900		H31年1月～12月
		達成率		79.7%	77.1%	70.5%	77.9%	64.1%		
		目標事項 市内宿泊客数								
		KPI 令和2年度までに年間317千人								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	291	296	284	318	329	312		H31年1月～12月
		達成率		93.4%	89.6%	100.3%	103.8%	98.4%		
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								

平成31年度	評価 (C)	【平成31年度評価】								
		担当課評価	日本版DMOの法人の形成・確立による観光地経営を実現し、産官学が一体となった事業を展開するため、勝浦市観光プラットフォーム推進協議会を設置した。 また、滞在交流型観光の推進及びインバウンド拡大策により、本市観光商品ブランド強化を実施した。							
		B	台風や新型コロナウイルスの影響により、観光入込客数は減少となったものの、日本版DMO候補法人となった(一社)勝浦市観光協会が勝浦中央海水浴場にて『勝浦ウォーターアイランド』を開設し新たな海の魅力を創出し、観光資源の再構築を図る事ができたことから、B評価とする。							
	改善 (A)	【令和2年度における取組み】 観光を活かした地域振興を図るため、DMO候補法人である(一社)勝浦市観光協会は日本版DMOの形成・確立に向け準備を進める。 国際武道大学やマリンスポーツ事業者と連携したスポーツや海などの自然を利用したスポーツヘルスツーリズム推進事業を実施する。 インバウンド対策として日本酒(市内の酒蔵)や武道、朝市といった勝浦の観光コンテンツを利用した商品を開発し、滞在交流型観光に係る環境整備を実施する。								
		委員意見	【評価等に対する意見】							
委員評価	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。									
B										

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	観光商工課							
基本目標		2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進								
基本方向		魅力的な観光地の基盤づくりの強化								
		イベント活動の充実と魅力の向上								
具体的施策		観光産業の育成・支援								
事業名		No.212 イベント活動の充実と新たな観光資源の整備								
事業概要		既存イベント活動の充実を図るとともに、新たな観光資源の掘り起こしを行い地域の活性化を促進するよう努めます。								

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 交流人口（観光入込客数）								
		KPI 令和2年度までに年間1,405千人								
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
			1,126	1,120	1,083	991	1,095	900		H31年1月～12月
		達成率		79.7%	77.1%	70.5%	77.9%	64.1%		
		目標事項 市内宿泊客数								
		KPI 令和2年度までに年間317千人								
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
			291	296	284	318	329	312		H31年1月～12月
		達成率		93.4%	89.6%	100.3%	103.8%	98.4%		
		目標事項								
		KPI								
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		達成率								

平成31年度	評価（C）	【平成31年度評価】	
		担当課評価	入込客数について、海水浴場は長雨や台風の影響、かつらびっぴなまつりは新型コロナ感染拡大防止の為に中止となるなど減少となった。 こうした中でも、勝浦中央海水浴場では新たな観光資源として、勝浦ウォーターアイランド（28,714人の入込）が開設され、前年の3倍以上の入込となった。 以上から、かつらびっぴなまつりが中止となったが、新たな観光資源となる勝浦ウォーターアイランドが開設されるなど、一定の効果があったことからB評価とする。
	改善（A）	B	※勝浦海水浴場の入込数の実績 平成30年は10,160人（開設期間7/14～8/19） 令和元年は35,853人（開設期間7/13～8/18）
	委員意見	【令和2年度における取組み】 イベントのマンネリ化を防ぎ、新たな誘客を求めるため、イベント内容に変化を求めたい。具体的にはかつらびっぴな祭りや若い世代も楽しめる企画や、中房総や安房地域など広域の観光周遊を盛り込んだ企画を強化することによる誘客を図る。 新型コロナウィルスの影響により多くのイベントが休止となっているが、コロナ収束後の観光イベントなど、観光コンテンツの造成やプロモーション活動を図りたい。	
【評価等に対する意見】			
	委員評価	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。	
	B		

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	企画課
基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進		
基本方向	魅力的な観光地の基盤づくりの強化		
	イベント活動の充実と魅力の向上		
具体的施策	観光産業の育成・支援		
事業名	No.213 漁村・農村観光の促進		
事業概要	今後の観光業の底上げを図るために漁業体験、農業体験などのメニューの構築や、観光マップの作成および周辺環境を整備し滞在時間の延長及び交流人口の増加を促進します。		

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
数値										
達成率										
平成31年度	評価（C）	【平成31年度評価】								
		担当課評価	本事業は、滞在時間の延長及び交流人口の増加を促進することを目的としている。 一方、戦略事業番号「No.411 住民主導型地域づくり支援」では、交流人口増加など地域課題の解決に向けたまちづくり活動への支援を事業目的としている。							
		B	企画課では、まちづくり活動団体への支援（補助）が本事業の目的に資するものと考え、前年度に支援した団体が継続してまちづくり活動ができるよう、その補助件数3件を評価指標に設定した。本年度の実績は以下のとおり。 ●平成30年度から継続して実施している、鶴原区、水土里の郷大森、勝浦アクティブパートナーズの3団体に加え、平成31年度から新たに守谷区の団体「南勝浦リゾートプレス」が加わり、支援団体の数は4件となった。 ●鶴原区をはじめ、市来訪者に対する観光ボランティアの育成などホスピタリティの向上や、持続可能な地域イベントの実践などの独自の取り組みを試み、地域住民の主体的で新たな観光地の基盤づくりに繋がってきている。 以上から、まちづくり活動団体への支援件数が1件増加し、全4団体への支援を行うことができたことにより目標以上の成果はあったものの、9月と10月の台風被害の影響や、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から各まちづくり団体の活動が縮小されたことを考慮して、B評価とする。							
	改善（A）	【令和2年度における取組み】								
		住民主導によるまちづくりを支援する事業に対する補助金交付事業は継続するが、平成31年度中に発生した自然災害や新型コロナウイルスの影響によってまちづくり団体の活動が縮小傾向にあったことから、そのフォローアップを行っていく必要がある。								
	委員意見	【評価等に対する意見】								
		委員評価								
		B	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標とおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



平成31年度分		担当課	観光商工課
基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進		
基本方向	UIJターンの促進		
具体的施策	移住・定住の促進		
事業名	No.221 UIJターンの促進		
事業概要	都市住民を対象に本市への移住・定住するためのきっかけづくりに取り組み、移住・定住を支援する体制を構築します。		

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 移住相談件数								
		KPI 令和2年度までに年間170件								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	126	144	154	161	168	91		
		達成率		84.7%	90.6%	94.7%	98.8%	53.5%		
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
平成31年度	評価（C）	【平成31年度評価】								
		担当課評価	平成31年度は9月以降、台風15号、19号、21号に伴う大雨の影響及び新型コロナウイルス感染症拡大に伴い移住相談会イベントが中止となるほか、千葉県が甚大な被害を受けた影響により、相談件数が大きく減少したため、D評価とする。							
		D								
	改善（A）	【令和2年度における取組み】								
		引き続き、移住相談会イベントへ出展するとともに、移住支援NPO法人へ加盟し、移住に関心のある方々へのさらなるPRに努める。								
委員意見	【評価等に対する意見】									
	委員評価									
	D	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



平成31年度分	担当課	観光商工課
基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進	
基本方向	UIJターンの促進	
具体的施策	移住・定住の促進	
事業名	No.222 田舎暮らしの魅力発信	
事業概要	都市住民へ本市の魅力を体験してもらうため、お試し居住施設の整備を図ります。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
	数値									
	達成率									
平成31年度	評価（C）	【平成31年度評価】								
		担当課評価	27年度から開始した田舎暮らし体験施設については、利用人数が27年度4人（70日間利用）、28年度11人（214日間利用）、29年度13人（102日間利用）、30年度11人（30日間利用）、31年度11人（41日間利用）と低調であり、費用対効果が低いことからE評価とする。							
	E									
	改善（A）	【令和2年度における取組み】								
		制度開始以降、利用者が移住につながった実績がないことから、事業を見直した結果、中止とした。なお、本事業の中止に替わる新たな取り組みとして、移住施策として新規にツアーの実施を予定している。（No.223の若者定住の推進 で記載）								
委員意見	【評価等に対する意見】									
	委員評価	担当課の評価のとおりとする。 ただし、田舎暮らし体験事業が移住に繋がらなかった要因の分析を行い、新たな移住施策に活かす必要がある。								
E										

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分	担当課	観光商工課
基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進	
基本方向	UIJターンの促進	
具体的施策	移住・定住の促進	
事業名	No.223 若者定住の推進	
事業概要	定住を希望する若い夫婦に対し、経済的負担を軽減するため、奨励金を交付します。	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
平成31年度	評価 (C)	【平成31年度評価】							
	担当課評価	奨励金交付件数は、年々減少しているが、平成31年度は9月以降、台風15号、19号、21号に伴う大雨の影響及び新型コロナウイルス感染症拡大に伴い人口動態そのものが減少しており、奨励金の年間交付目標件数を21件と設定していたが、平成31年度は7件にとどまったことから、D評価とする。 (H27=19件、H28=10件、H29=14件、H30=11件、H31=7件)							
	D								
	改善 (A)	【令和2年度における取組み】							
		奨励金制度の周知宣伝に努めるとともに、移住施策として新規にツアー等を実施することにより、効果を高める。							
委員意見	委員評価	【評価等に対する意見】							
		担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。							
		D							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	都市建設課						
基本目標	2 観光による交流人口の拡大、移住・定住の促進								
基本方向	UIJターンの促進								
具体的施策	移住・定住の促進								
事業名	No.224 住環境の整備								
事業概要	アパート経営者に対し、単身者向けから、ファミリー向けに改装した場合に補助を行い住環境の充実を図ります。								

  

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
	数値										
	達成率										
	平成31年度	評価 (C)	担当課評価	【平成31年度評価】 勝浦市集合住宅リフォーム補助金交付要綱を策定しホームページ等により周知を行っている。補助金額は対象経費の10分の1、上限50万円、且つ市内業者の施工によるものとなっており、集合住宅所有者の費用負担を考えると当該補助金の申請は少なくなる傾向にある事業と考える。 平成31年度の申請件数の実績はなかったが、本事業では門戸を開いておくことが重要と考え、B評価とする。							
			B								
		改善 (A)	【令和2年度における取組み】 引き続き、広報紙やホームページなどで周知する。								
委員意見		委員評価	【評価等に対する意見】								
	D	本事業が、移住、定住の促進(住環境の整備)のため重要と考えるのであれば、補助内容等の精査をし、改める必要があるのではと考える。									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	生涯学習課
基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実		
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現		
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援		
事業名	No.311 婚活の支援		
事業概要	男女の出会いの場の創出として、婚活イベントやセミナーの開催、結婚相談などの体制を強化し、結婚成立のための支援を行います。		

  

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
	数値									
	達成率									
平成31年度	評価 (C)	担当課 評価	【平成31年度評価】 本事業は、男女の出会いの場を創出するため、未婚男女の出会いの場「縁Cafe」の開催することを目標とし、年7回の開催を事業の評価指標に設定した。事業成果は以下のとおり。 ●未婚男女を対象とした出会いの場の提供として、人と人との結びつき、恋活/婚活を支縁するためのイベントの企画から運営を「婚活支援員」に委託。新たに気軽に参加できる出会い・ふれあいの場として毎月1回のイベント「縁Cafe」を開催。(9～1月:5回・参加者延べ男性32名・女性13名) ※2～3月開催予定イベントは中止。 ●このほか、「結婚相談所」新規登録者の募集、「婚活支援員」による登録者の面談・マッチング(お見合い)・成婚までの支援、「婚活支援員」の情報交換のための会議など、年間を通して実施。前年度婚約していた「結婚相談所」登録者1組、平成29年度開催イベントでのカップル1組の計2組が成婚した。 以上から、本年度に2組のカップルが成婚した成果はあったものの、コロナウイルス感染拡大防止の観点から「縁Cafe」の開催回数が減少したことや、その他イベントが中止したことによりC評価とする。							
		C								
	改善 (A)	【令和2年度における取組み】 「結婚相談所」新規登録者及び「婚活支援員」の継続募集。 「婚活支援員」による登録者の面談・マッチング(お見合い)・成婚までの支援。 「婚活支援員」を主体とし、年間を通して未婚者を対象とした「恋活/婚活イベント」の開催。 「結婚相談所」登録者及び「婚活支援員」を対象としたセミナー開催の検討。 広域的な取組として、近隣市町自治体と連携しての「恋活/婚活イベント」開催を検討。								
	委員意見	【評価等に対する意見】								
		委員 評価	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。							
		C								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	福祉課							
基本目標		3 子育て・教育環境の向上と充実								
基本方向		出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現								
具体的施策		婚活・妊活・出産・子育て支援								
事業名		No.312 子どもを産み、育てる支援(妊娠から就学前まで)								
事業概要		妊娠から出産までの支援、産後の健やかな成長を見守る専門的な支援の充実を図ります。 具体的な事例 ・産前・産後ケアの充実を図るため、保健師などによる訪問を行います。 ・母子の健康保持、増進を図るため、保健指導、健康診査、育児相談などを実施します。 ・妊婦を対象とした事業を実施し、妊婦同士の交流の場を提供することで子育ての孤立の防止や妊娠期から行政と顔の見える関係性を構築するよう努めます。 ・子どもを望む夫婦に対して、不妊治療への助成金を支給し経済的負担の軽減を図ります。 ・子育て必需品であるオムツ等を助成し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。 ・多子世帯の第3子以降の保育所・幼稚園の保育料を軽減することで、多子世帯の経済的負担の軽減を図ります。								
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項 1歳6ヶ月児健診率								
		KPI 令和2年度までに100.0%								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	83.5	82.2	94.3	95.9	91.0	86.5		
		達成率		82.2%	94.3%	95.9%	91.0%	86.5%		
		目標事項 3歳児健診率								
		KPI 令和2年度までに100.0%								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	89.8	84.5	95.2	91.2	94.4	93.5		
		達成率		84.5%	95.2%	91.2%	94.4%	93.5%		
平成31年度	評価(C)	【平成31年度評価】								
		担当課評価	1.6歳および3歳児健診の受診率は昨年度より低くなったが、未受診者に対しては、地区担当保健師等による電話連絡を実施し、未受診の理由を確認し、次回の受診勧奨をした。(未受診者のフォローは100%である)。また、未受診者に対してこども園等を通して保護者に受診勧奨をした。、引き続き、こども園等と連携し受診勧奨を徹底し、子育て支援を強化したい。また、子育て世代包括支援センターにおいて、助産師等による母子手帳交付や産後の授乳相談を実施する。その他、妊婦訪問および産後ケア事業の実施など妊娠期から子育て期までを包括的に支援する体制を整えることができた。							
		A	乳児おむつ助成受給券及びおむつ廃棄用ごみ袋支給事業(対象者46名)及び、多子世帯第3子以降の保育所保育料助成(対象者26名)についても引き続き実施し、継続して保護者の経済的負担を軽減し、子育て世帯の支援の充実を図った。 以上により、子育てしやすい環境づくりが進んでいることから、A評価とする。							
改善(A)	改善(A)	【令和2年度における取組み】								
		1.6歳および3歳児健診については、早期の個別通知及びこども園等にポスターを掲示する他に、未受診者への電話勧奨等を引き続き実施し、受診率向上に努める。また、子育て世代包括支援センターを活用し、助産師による妊娠から産後における保健指導を強化すると共に、引き続き産科医療機関や産後ケア実施施設と連携し、妊娠期から子育て期まで包括的に支援する事業を展開する。 乳児おむつ助成受給券及びおむつ廃棄用ごみ袋支給事業について、対象者への丁寧な事業周知を行い、利用率の向上に努め、引き続き子育て支援を図る。多子世帯第3子以降の保育所保育料助成については、令和元年10月から実施された幼児教育・保育無償化に伴い、対象者の保育料について無償化となったため、令和2年度は事業廃止。								
委員意見	委員意見	【評価等に対する意見】								
		委員評価	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も勝浦市の子育て支援の充実度を高められるよう改善を図り、事業を継続されたい。							
		A								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	学校教育課								
基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実										
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現										
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援										
事業名	No.312 子どもを産み、育てる支援(妊娠から就学前まで)										
事業概要	妊娠から出産までの支援、産後の健やかな成長を見守る専門的な支援の充実を図ります。 具体的な事例 ・多子世帯の第3子以降の保育所・幼稚園の保育料を軽減することで、多子世帯の経済的負担の軽減を図ります。										
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		平成31年度	評価 (C)	【平成31年度評価】							
				担当課評価	軽減対象世帯を抽出後、対象世帯への個別通知により申請を促し、軽減対象世帯全6世帯に対し、総額181,500円を助成した。 幼児教育無償化前までの期間、全ての軽減対象世帯に対して負担軽減を図ることができたことから、B評価とする。						
			改善 (A)	【令和2年度における取組み】							
子ども子育て支援法の一部改正により、令和元年10月から幼児教育が無償化されたため、幼稚園における多子世帯の第3子以降の幼稚園保育料の負担軽減の実施は行わない。											
【評価等に対する意見】											
委員意見	委員評価	担当課の評価のとおりとする。									
	B										

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



平成31年度分

担当課

学校教育課

基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援
事業名	No.313 子どもを産み、育てる支援(就学から高校を卒業するまで)
事業概要	児童・生徒の学力向上に向けた研究を行うとともに、国際化に対応した人材の育成を推進するよう努めます。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	
		KPI	
		基準値	27年度
		28年度	29年度
		30年度	31年度
		R2年度	備考
		数値	
		達成率	
		目標事項	
		KPI	
		基準値	27年度
		28年度	29年度
		30年度	31年度
		R2年度	備考
		数値	
		達成率	
		目標事項	
		KPI	
		基準値	27年度
		28年度	29年度
		30年度	31年度
		R2年度	備考
		数値	
		達成率	
平成31年度	評価 (C)	【平成31年度評価】	
		担当課 評価	中学生海外派遣事業については、平成31年度においては10名の参加であった。勝浦中学校文化発表会において海外派遣報告会を実施し、参加できなかった生徒へのフィードバックを実施した。
		B	また、英語力向上のため、外国語指導助手3名体制により、各学校の英語授業の充実を図ることができたことから、B評価とする。
			※海外派遣事業実績 平成29年度 11名(うち教職員2名) 平成30年度 18名(うち教職員2名) 平成31年度 12名(うち教職員2名)
		改善 (A)	【令和2年度における取組み】 中学生海外派遣事業については、定員15名で実施 外国語指導助手については3名体制により、各学校等への派遣を行う。
		委員意見	【評価等に対する意見】
		委員 評価	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。
		B	なお、補助金制度の見直しを含め、海外派遣事業の参加を促すための改善策を検討する必要がある。

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	学校教育課						
---------	--	-----	-------	--	--	--	--	--	--

  

基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実							
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現							
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援							
事業名	No.314 子どもを産み、育てる支援(出産から高校を卒業するまで)							
事業概要	次世代を担う子どもたちに、まちづくりに関心を持つ環境・土壌づくり、地域教育の充実育成を推進するよう努めます。							

  

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
	数値									
	達成率									
	平成31年度	評価 (C)	【平成31年度評価】							
			担当課評価	全ての学校において特色ある学校教育事業を実施(一部を予算執行を伴わない形で実施)勝浦中学校においては前年度に引き続き、郷育プロジェクトとして田植え、稲刈り、地引網、魚捌き体験等を行い、地場産業への理解を深める授業を実施した。以上から、子どもたちに対する地域教育を推進することができたことから、B評価とする。						
		改善 (A)	【令和2年度における取組み】							
昨年度に引き続き各学校において特色ある学校教育が展開できるようサポートを実施勝浦中学校の事例を参考として他の教科と関連付けし、横断的な実施の検討を促す。また、子どもによるまちづくり提案事業について、学校への周知を図るとともに、提案等の内容検証など、学校が提案しやすくなるよう教育委員会としてサポートを実施する。										
委員意見	【評価等に対する意見】									
	委員評価	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	企画課
基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実		
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現		
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援		
事業名	No.314 子どもを産み、育てる支援(出産から高校を卒業するまで)		
事業概要	次世代を担う子どもたちに、まちづくりに関心を持つ環境・土壌づくり、地域教育の充実育成を推進するよう努めます。		

  

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項 子どもによるまちづくり提案事業件数(延べ)								
		KPI 令和2年度までに18件								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	2	2	7	12	15	16		延べ件数16件 (31年度1件)
		達成率		11.1%	38.9%	66.7%	83.3%	88.9%		
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
平成31年度	評価 (C)	【平成31年度評価】								
		担当課 評価	31年度の活動件数は1件であり、前年度と比較し2件の減少であった。 事業の周知のため広報誌、全小中学校を訪問しての説明を行い、過去の利用実績のある団体に声かけするなど行ったが、結果的に1団体の利用にとどまったことから、C評価とする。							
	改善 (A)	【令和2年度における取組み】								
		継続して本事業を周知するだけでなく、活発な審査会および報告会となるよう工夫する。 H31年度に交付年齢要件を緩和し、従前の18歳以下から22歳以下に引き上げたうえで補助上限額の引き上げを行っており、補助事業の周知法の改善や、活動のイメージが沸くような説明に努めるなど、さらにまちづくりへの関心を高め、自発的に行動する意識づけをし、事業の充実と学生や社会人などのまちづくりを促進する。								
委員意見	【評価等に対する意見】									
	委員 評価	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。								
		C								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	企画課
基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実		
基本方向	出会い、妊娠、出産、子育てがしやすい環境の実現		
具体的施策	婚活・妊活・出産・子育て支援		
事業名	No.314 子どもを産み、育てる支援(出産から高校を卒業するまで)		
事業概要	子育てについて、地域ぐるみでの子育て意識の醸成や交流が図れるよう、フォーラム等を開催します。		

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
	数値									
	達成率									
平成31年度	評価（C）	【平成31年度評価】								
		担当課評価	子育てイベントとして平成27年度に開始し、平成27年度2000人、平成28年度1500人、平成29年度1400人、平成30年度に1200人の親子の参加があり、平成31年度も前年度と同規模のイベント開催を目標とし、その来場者数として1200人を評価指標に設定して事業を企画した。 しかしながら、平成31年度は令和2年2月2日のイベント開催を予定していたが、中国武漢からの帰国者が市内ホテルに滞在していた時期と重なり、帰国者の受入体制等への対応が必要となったことなどの理由から、事業中止の判断を余儀なくされた。 以上から、本年度はC評価とする。							
	改善（A）	【令和2年度における取組み】								
		平成30年度と同様、未就学児童を対象としたイベントを開催し、顧客満足度の高い事業を目指す。								
	委員意見	【評価等に対する意見】								
委員評価		担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。								
		C								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	福祉課						
基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実								
基本方向	子育て及び教育にかかる施設等の整備								
具体的施策	子育て支援施設及び学校の整備維持								
事業名	No.321 子育て支援施設の整備								
事業概要	親子の集い、子育て相談、子育てに関する情報発信する地域子育て支援センターを併設した幼保連携型認定こども園を整備します。								

  

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
	数値										
	達成率										
	平成31年度	評価 (C)	担当課評価	地域子育て支援センターを併設した幼保連携型認定こども園(勝浦こども園)の建設が完了(令和2年1月14日開園)したことから、B評価とする。							
			B	※参考 令和2年4月1日現在の在籍児童数 ●勝浦こども園 184名(定員200名) ●上野保育所 72名(定員90名) ●総野保育所 35名(定員110名)							
		改善 (A)	【令和2年度における取組み】 勝浦こども園の地域子育て支援センターにおいて、親子の集い、子育て相談、子育てに関する情報発信する。また、移転したこども館(元勝浦若潮高校)とも連携しながら、地域の子育て支援拠点として活用する。								
委員意見		【評価等に対する意見】									
		委員評価	当初計画では、地域子育て支援センターを併設した幼保連携型認定こども園を整備することであり、令和2年1月に開園し、親子の集い、子育て相談、子育てに関する情報発信していることから、当初目標に達しているものと思慮されるので、評価は「A」が適当と考える。								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	学校教育課								
基本目標	3 子育て・教育環境の向上と充実										
基本方向	子育て及び教育にかかる施設等の整備										
具体的施策	子育て支援施設及び学校の整備維持										
事業名	No.322 学校の整備										
事業概要	児童生徒数の動向を踏まえた学校規模の適正化や適正配置をはじめ、計画的な施設の維持補修に努めます。										
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		平成31年度	評価 (C)	【平成31年度評価】							
				担当課評価	全ての学校の普通教室への空調設備の設置が完了するなど、学校施設の適正な維持管理に努めることができたことから、B評価とする。						
				B							
改善 (A)	【令和2年度における取組み】										
	引き続き計画的な施設の維持補修に努めるとともに、児童生徒数の推移を検証し、学校規模等の具体的な検討を行う。										
委員意見	【評価等に対する意見】										
	委員評価	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。									
		B									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



平成31年度分	担当課	企画課
基本目標	4 地域交流・地域振興の促進	
基本方向	主体性を持ったまちづくりへの参加支援	
具体的施策	地域づくりの支援	
事業名	No.411 住民主導型地域づくり支援	
事業概要	住民が自ら、自発的に考え、行動し、地域の課題について考え、地域資源を活かし、地域の環境向上を行うことを支援し、市主導ではない、住民主導の地域づくりの芽を育みます。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項 住民主導型地域づくり支援事業件数								
		KPI 令和2年度までに延べ18件								
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
			-	2	5	8	11	15		延べ件数15件 （31年度4件）
		達成率		11.1%	27.8%	44.4%	61.1%	83.3%		
		目標事項								
		KPI								
		数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
	数値	基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
	達成率									
平成31年度	評価（C）	担当課評価	本事業は、地域住民が主体となって地域課題に取り組む団体の育成を目的としている。 企画課では、まちづくり活動団体への支援（補助）が本事業の目的に資するものと考え、前年度に支援した団体が継続してまちづくり活動ができるよう、その補助件数3件を評価指標に設定した。本年度の実績は以下のとおり。							
		B	●平成30年度から継続して実施している、鶴原区、水土里の郷大森、勝浦アクティブパートナーズの3団体に対し、自主的な地域課題への取組に対する補助金の交付を行った。 （鶴原区では鶴原理想郷の来訪者に対する観光ボランティアの育成や実践等を、大森区では健康寿命の延伸を主目的とした散策路の整備、勝浦・墨名区では来訪者に対するおもてなし意識の醸成を目的とした活動を実践） ●平成31年度から新たに守谷区の団体「南勝浦リゾートプレス」が加わり、支援団体の数は4件となった。（交流人口の増加や環境保全を目的とした活動を実践）  以上から、まちづくり活動団体への支援件数が1件増加し、全4団体への支援を行うことができたことにより目標以上の成果はあったものの、9月と10月の自然災害の影響や、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から各まちづくり団体の活動が縮小されたことを考慮して、B評価とする。							
	改善（A）	【令和2年度における取組み】 令和2年度においても継続して各地区の自主性に基づいた活動を補助金を通じて支援するとともに、補助金の支援が5年であることから、6年目でも持続可能な活動となるよう協議、相談を行っていく。								
	委員意見	【評価等に対する意見】								
		委員評価	自然災害又は新型コロナ感染拡大防止の観点から各団体の活動が縮小されたとのことであるが、住民主導型地域づくりという点では、目標以上の成果であったと考える。 令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。							

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分

担当課

生涯学習課

基本目標	4 地域交流・地域振興の促進
基本方向	健康寿命の延伸
具体的施策	地域づくりの支援
事業名	No.412 国際武道大学との連携による健康増進
事業概要	子どもから高齢者まで心身ともに健やかに暮らせるように、国際武道大学と連携し、各種スポーツの振興を図ります。 具体的な事例 ・国際武道大学と連携し各種スポーツ教室等を開催し市民の健康づくりを推進します。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	目標事項	学校施設開放事業登録団体数						
		KPI	令和2年度までに36団体						
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度
		数値	39	36	31	33	32	30	
		達成率		100.0%	86.1%	91.7%	88.9%	83.3%	
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度
		数値							
		達成率							
平成31年度	評価（C）	【平成31年度評価】							
		担当課評価	学校施設開放事業登録団体の一部の団体では会員の減少に伴い、登録団体からの脱退があり、年々減少傾向にある。 国際武道大学との連携により、大人から子どもまで幅広い世代が交流できるバレーボール教室、小学生を対象とした器械体操教室やタグラグビー教室、20歳以上を対象とした大人の体力測定を開催した他、高齢者学級ではパークゴルフ大会、31年度は新規に中学生を対象とした陸上教室やコンディショニング教室を開催し、各教室ともに概ね定員に達することができスポーツ振興と健康づくりの推進を図った。 以上から、学校施設開放事業登録団体数は減少しているものの、各教室では概ね定員に達していることから、B評価とする。						
	改善（A）	【令和2年度における取組み】	学校施設開放事業登録団体数については減少傾向にあるが、市民のスポーツに対するニーズを的確に把握するとともに、子どもから高齢者まで心身ともに健やかに暮らせるよう、国際武道大学と連携しながら各種スポーツ教室等を企画し、スポーツ振興を図る。						
		【評価等に対する意見】							
	委員意見	委員評価	学校施設開放事業登録団体数を目標事項とし、減少しているものの、武道大学との連携による各種の健康増進事業（各教室）は定員に達する状況であり、「A」評価が適当である。 令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	市民課							
基本目標	4 地域交流・地域振興の促進									
基本方向	健康寿命の延伸									
具体的施策	地域づくりの支援									
事業名	No.412 国際武道大学との連携による健康増進									
事業概要	子どもから高齢者まで心身ともに健やかに暮らせるように、国際武道大学と連携し、各種スポーツの振興を図ります。 具体的な事例 ・健康増進に対して活動を行っている市民団体に対して支援を行います。									
計画(P) ↓ 実施(D)										
計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	目標事項 特定健診受診率(国民健康保険)								
		KPI	令和2年度までに60.0% ※勝浦市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画の数値目標と一致							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値	22.6	25.6	24.0	25.2	25.5	32.3		
		達成率		43%	40%	42%	43%	54%		
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
		目標事項								
		KPI								
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値								
		達成率								
平成31年度	評価(C)	担当課評価	健康寿命の延伸を図るための事業として、健康ハツラツ・フィットネス教室など国際武道大学との連携による事業のほか、市民団体への健康啓発も行ってきた。一方、特定健診受診率については、対象者への一斉通知、過去の受診歴を参照しAIを活用した未受診者への受診勧奨や会場までの移動手段が乏しい地区においては送迎バスを運行するなど、受診率向上に努めたものの、特定健診受診率の目標値との乖離が大きいことから、C評価とする。							
		C								
	改善(A)	【令和2年度における取組み】 健康寿命延伸のため、国際武道大学との連携による健康ハツラツ・フィットネス教室を継続するとともに、全対象者への一斉通知、過去の受診歴を参照し未受診者への電話受診勧奨を実施する。また他の検診(肺がん、大腸がん、前立腺がん)と同時実施することで、相乗効果として受診率向上を図る。また会場までの移動手段が乏しい地区への移動手段の確保等を引き続き実施する。								
	委員意見	【評価等に対する意見】 委員評価 C 担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分

担当課

企画課

基本目標	4 地域交流・地域振興の促進
基本方向	主体性を持ったまちづくりへの参加支援
具体的施策	地域づくりの支援
事業名	No.413 広域連携の促進
事業概要	地域の実情に応じた自治体間の連携を深め、事務分担や政策面において自由度を拡大して広域連携を促進するよう努めます。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
		目標事項							
		KPI							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考
		数値							
		達成率							
平成31年度	評価 (C)	【平成31年度評価】							
		担当課評価	和歌山県那智勝浦町の『南の国の雪まつり』、徳島県勝浦町の『軽トラ市』へ出展した。また、『かつうら魅力市』では那智勝浦町と勝浦町からの出展もあるなど、1市2町の交流を深めることができたことから、B評価とする。						
	改善 (A)	B							
		【令和2年度における取組み】	本年度も例年並みの活動予定であるが、より勝浦をPRできる出展内容になるよう検討する。全国勝浦ネットワーク会議を徳島県勝浦町にて開催予定であり、交流拡大に向けた取り組みを協議する会議とする。また、西東京市とは、2年度が西東京市民祭り20周年にあたるため、開催に協力し、さらなる交流拡大を図る。						
	委員意見	【評価等に対する意見】							
		委員評価	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。						

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

平成31年度分		担当課	企画課
基本目標	4 地域交流・地域振興の促進		
基本方向	主体性を持ったまちづくりへの参加支援		
具体的施策	地域づくりの支援		
事業名	No.414 国際化の推進		
事業概要	市民の国際化社会への対応や、異文化交流に接する機会増進を目的として、姉妹都市の提携などを検討します。		

  

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
	数値										
	達成率										
	平成31年度	評価 (C)	担当課評価	【平成31年度評価】 時差の少なさや、海岸観光を利用した産業体系、オリンピックサーフィン競技の強豪国であることなど、勝浦市と関連事項の多いオーストラリアを交流の可能性の有る対象国として選定しているところであり、本年度も引き続き、自治体国際化協会(CLAIR)のホームページに姉妹都市交流を希望する自治体として掲載していることから、本事業の評価Bとする。							
			B								
		改善 (A)	【令和2年度における取組み】 自治体国際化協会(CLAIR)、日本貿易振興機構(JETRO)等と連携を図りつつ、海外都市との交流の可能性を引き続き模索するとともに、国際武道大学留学生等との交流機会の創出・拡大等による異文化交流を推進する。 併せて、勝浦に住む外国人労働者への市情報の提供についても検討していきたい。								
委員意見		【評価等に対する意見】									
		委員評価	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。								
		B									

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



平成31年度分

担当課

学校教育課

基本目標	4 地域交流・地域振興の促進
基本方向	主体性を持ったまちづくりへの参加支援
具体的施策	地域づくりの支援
事業名	No.414 国際化の推進
事業概要	市民の国際化社会への対応や、異文化交流に接する機会増進を目的として、姉妹都市の提携などを検討します。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項	
		KPI	
		基準値	27年度
		28年度	29年度
		30年度	31年度
		R2年度	備考
		数値	
		達成率	
		目標事項	
		KPI	
		基準値	27年度
		28年度	29年度
		30年度	31年度
		R2年度	備考
		数値	
		達成率	
		目標事項	
		KPI	
		基準値	27年度
		28年度	29年度
		30年度	31年度
		R2年度	備考
		数値	
		達成率	
平成31年度	評価 (C) ↓ 改善 (A) ↓ 委員意見	【平成31年度評価】	
		担当課評価	中学生海外派遣事業において募集人員10名に対し10名の生徒が参加し、オーストラリアのブリスベンの学校と交流を実施した一方、異文化交流については6校のうち上野小学校の1校のみの実施(国際武道大学の留学生との交流)であったことから評価をCとする。
		C	※国際武道大学の留学生との交流 上野小学校3年生・総合的な学習の時間で、留学生への質問や日本文化を伝えるなどのコミュニケーションを図った。
		【令和2年度における取組み】	
		改善	中学生海外派遣事業においてオーストラリアのブリスベンの学校と交流事業を実施する。 上野小学校において実施した国際武道大学の留学生との交流事業をモデルとして、学校が主体となった交流事業の実施について検討を行う。
		【評価等に対する意見】	
		委員評価	
		C	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。



平成31年度分		担当課	企画課
基本目標	4 地域交流・地域振興の促進		
基本方向	地域振興拠点施設の整備		
具体的施策	地域交流・地域振興施設の整備		
事業名	No.422 公共交通の整備		
事業概要	平成26年10月から新たな公共交通施策として実施している予約制乗合タクシーの実証運行を継続して行い、市民の移動手段の確保及び検討を行います。		

  

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考	
		数値									
		達成率									
		目標事項									
		KPI									
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	備考		
	数値										
	達成率										
	平成31年度	評価 (C)	担当課評価	【平成31年度評価】 デマンドタクシーの勝浦市生活交通ネットワークに示された目標は、1日あたりの利用者数19.0人であるが、平成31年度の1日あたりの利用者数は19.8人であり、目標を達成したことから、B評価とする。							
			B	※デマンドタクシー乗車実績 平成30年度は17.8人（運行日数292日、5,201人） 平成31年度は19.8人（運行日数291人、5,772人）							
		改善 (A)	【令和2年度における取組み】 今後も利便性を向上させ、市民の移動手段としての役割を果たせるよう改善に努めるとともに、広報、パンフレット、ポスターによる周知を継続して行うだけでなく、免許返納者やキャンペーンを実施するなどし利用者増加に努める。 また、市内公共交通空白地域等でアンケート調査を実施し、移動弱者及び買物弱者対策を検討する。								
委員意見		【評価等に対する意見】									
		委員評価	担当課の評価のとおりとし、令和2年度以降も改善を図り、事業を継続されたい。 なお、JR外房線の運行本数の増加は市民の移動手段の確保はもとより、イベント等の来勝者の利便性向上につながるなど地域活性化につながるため公共交通の確保に努められたい。								

- A: 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。  
 B: ほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進する。  
 C: 目標をやや下回っており、要因の分析を必要とする。  
 D: 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。  
 E: 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。